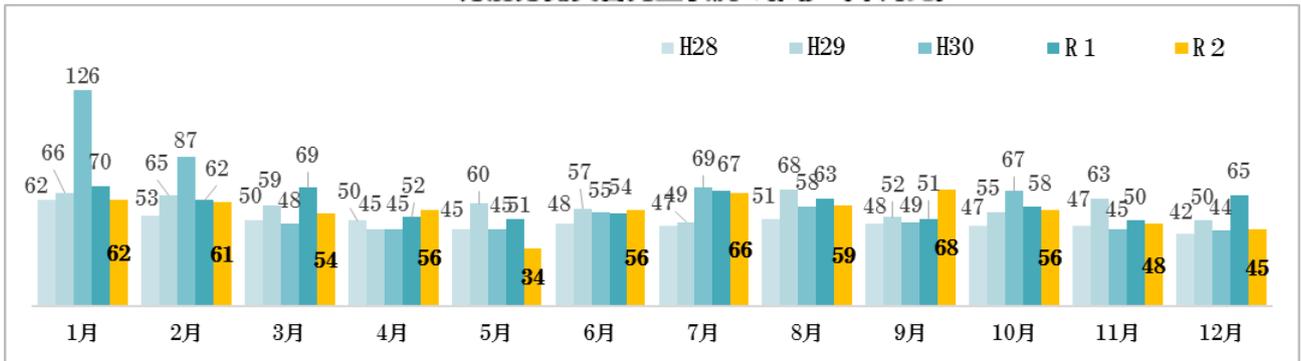


金沢労働基準監督署から「4 S活動に2つのSを加えて6 S活動」のお願い

金沢市、白山市、野々市市、かほく市、河北郡の労働災害発生状況をみると、冬季の災害は、大雪となれば平年の2倍にも増加します。車の凍結スリップによる交通事故も増えますが、人の転倒災害も急増します。

月別労働災害発生状況の推移（年対比）



そこで、「整理」「整頓」「清潔」「清掃」の4 S運動に加え、冬季積雪転倒防止対策として以下の取組みをお願いします。

4 Sにもう一つのSを加えて5 S活動

「ストレッチ」

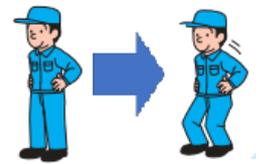
作業開始前、作業中にストレッチを実行してください。

身体がこわばった状態で作業に入らないでください。

短時間のストレッチを行い歩行することにより、躓き、段差の踏み外し等を防ぎます。

また、仮に転倒しても、大きな事故にはならない可能性が高くなります。

効果的な「ストレッチ」事例はこちら→



5 Sに、さらにもう一つのSを加えて6 S活動

「SNOW（スノー）対策」（冬季無災害運動）

北陸では冬季には、積雪により滑る、凍結により滑るといった現象により転倒災害が多発しており、積雪が多かった年は、平成30年、令和3年転倒災害が急増しています。

雪道を安全に歩くために滑らないスノーブーツは必要です。

雪道には、ツルツルと滑りやすくなる注意すべき場所があります。新雪が積もった雪の上では、きゅっきゅっと踏みしめて歩くと滑りません。

冬靴を選ぶ際に重要なのは、防滑性、防水性、保温性に優れていることです。

防滑性に優れた靴底は、「ピン、金具付き」「グリップ力のある深い溝がある」「滑り止め材が混ざっている」靴底です。滑らないスノーブーツでご安全に！



北陸4局（新潟、富山、石川、福井）で協同して12月から翌年2月末まで→「冬季無災害運動」を推進しています。